

生産性向上支援訓練カリキュラム

B. 生涯キャリア形成	モチベーションアップにつながる指導方法を学ぼう！
技能・ノウハウ継承	効果的なOJTを実施するための指導法

コースのねらい	後輩従業員へのノウハウの継承を目指して、中堅・ベテラン従業員がもつ経験や技能をOJTを通じて後輩従業員に伝達するための知識と技能を習得する。
----------------	--

対象	(中堅・ベテラン層向け(45歳以上推奨)) ・指導しているが、なかなか伝わらない等のお悩みがある方 ・自分の経験や技能を効果的に伝えていきたい方
-----------	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 人材育成のプロセス	(1) 理想の指導者とは【演習】 ・理想の指導者像について(グループ討議) ・指導者としての自身が担う役割を考える(グループ討議) ・指導者として必要な考え方 (2) モチベーションとは何か【演習】 ・モチベーションの源泉とは(グループ討議) ・相手のモチベーションを知る重要性 (3) 自身の現状を見つめる【演習】 ・自身の指導の在り方について 「うまくいっていること」、「課題と感ずること」(グループ討議)	1.0
	2 効果的なOJTの進め方とポイント	(1) 効果的なOJTとは【演習】 ・OJTの目的、目標を明確にする(グループ討議) ・OJTを進める上でのポイント (2) 効果的なOJTに求められる関わり方とは ・世代間ギャップを考え、若手が育った時代背景を考える ・若手の価値観や考え方の傾向を知る (3) 相手に応じた育成法【演習】 ・相手に合わせた関わりを導き出す(グループ討議) ・具体的な場面で考える(褒め方、注意の仕方、指示の仕方など)	2.5
	3 現場で活かせる実践的指導法	(1) コーチングから学ぶ効果的な指導法 ・コーチングとは ・コーチングとティーチングの違い ・コーチングの活用場面 (2) コーチングの基本スキル【演習】 ・相手との信頼関係を築く「傾聴」 ・相手のモチベーションを高める「承認」 ・相手を前進させる「質問」 (3) 相手をさらに成長させるために【演習】 ・効果的な注意の仕方 ・フィードバックのポイント	2.5
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
・現場において部下・後輩に業務を通じて効果的に指導を行い、個人が持つノウハウを組織としてのノウハウとして継承していくことを目指します。 ・人材育成において、世代間ギャップに悩まれる方も多いため、若手の育った時代背景を考え、価値観やありたい姿を理解し、モチベーションを高める関わり方を見出します。 ・相手のタイプを理解し、相手に応じて受け入れられる対応法を身に付けます。 ・部下・後輩と信頼関係を構築しつつ、相手を成長させる指導法とかかわり方を座学だけでなく、演習を通して学び、職場で実践できる準備をします。

備考